

# 令和6年度 決算

令和7年6月

公益財団法人 高速道路調査会

# 目 次

1.	正味財産増減計算書（予算対比） -----	1
2.	正味財産増減計算書（前年対比） -----	2
3.	貸借対照表 -----	4
	貸借対照表附属明細書	
	財務諸表に対する注記	
4.	財産目録 -----	8

# 1. 正味財産増減計算書(予算対比)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算(A)	通 期(B)	差 額(B)-(A)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	5,700,000	5,711,200	11,200
基本財産受取利息	5,700,000	5,711,200	11,200
特定資産運用益	35,000,000	35,052,290	52,290
特定資産受取利息	35,000,000	35,052,290	52,290
受取会費	179,800,000	181,250,000	1,450,000
賛助会員受取会費	179,800,000	181,250,000	1,450,000
事業収益	594,600,000	644,869,846	50,269,846
調査研究事業収益	153,200,000	189,797,561	36,597,561
情報提供事業収益	27,400,000	25,426,296	△ 1,973,704
講習等事業収益	279,800,000	275,848,389	△ 3,951,611
展示会事業収益	134,200,000	153,797,600	19,597,600
雑収益	200,000	459,459	259,459
受取利息	100,000	421,959	321,959
雑収益	100,000	37,500	△ 62,500
経常収益計	815,300,000	867,342,795	52,042,795
(2) 経常費用			
事業費	752,000,000	769,564,794	17,564,794
調査研究事業費	260,400,000	259,858,346	△ 541,654
情報提供事業費	38,800,000	37,853,058	△ 946,942
講習等事業費	284,900,000	283,325,342	△ 1,574,658
展示会事業費	134,700,000	154,179,836	19,479,836
協力・支援事業費	33,200,000	34,348,212	1,148,212
管理費	55,800,000	56,151,195	351,195
経常費用計	807,800,000	825,715,989	17,915,989
評価損益等調整前当期経常増減額	7,500,000	41,626,806	34,126,806
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	7,500,000	41,626,806	34,126,806
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
税引前一般正味財産増減額	7,500,000	41,626,806	34,126,806
法人税、住民税及び事業税	3,800,000	5,597,600	1,797,600
当期一般正味財産増減額	3,700,000	36,029,206	32,329,206
一般正味財産期首残高	3,116,021,969	3,116,021,969	0
一般正味財産期末残高	3,119,721,969	3,152,051,175	32,329,206
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	146,830,000	146,830,000	0
指定正味財産期末残高	146,830,000	146,830,000	0
III 正味財産期末残高	3,266,551,969	3,298,881,175	32,329,206

## 2. 正味財産増減計算書(前年対比)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	5,711,200	5,711,200	0	
基本財産受取利息	5,711,200	5,711,200	0	
特定資産運用益	35,052,290	35,275,524	△ 223,234	
特定資産受取利息	35,052,290	35,275,524	△ 223,234	
受取会費	181,250,000	179,500,000	1,750,000	
賛助会員受取会費	181,250,000	179,500,000	1,750,000	
事業収益	644,869,846	544,258,835	100,611,011	
＜調査研究事業・出版事業＞公益目的事業1、収1	215,223,857	187,434,300	27,789,557	
調査研究事業収益	189,797,561	156,680,406	33,117,155	
情報提供事業収益	25,426,296	30,753,894	△ 5,327,598	
＜講習会事業＞公益目的事業2	275,848,389	244,610,135	31,238,254	
講習等事業収益	275,848,389	244,610,135	31,238,254	
＜展示会事業＞公益目的事業3	153,797,600	112,214,400	41,583,200	
展示会事業収益	153,797,600	112,214,400	41,583,200	
雑収益	459,459	63,919	395,540	
受取利息	421,959	9,464	412,495	
雑収益	37,500	54,455	△ 16,955	
経常収益計	867,342,795	764,809,478	102,533,317	
(2) 経常費用				
事業費	769,564,794	689,335,821	80,228,973	
＜調査研究事業・出版事業＞公益目的事業1、収1	297,711,404	288,978,411	8,732,993	
調査研究事業費	259,858,346	236,980,644	22,877,702	
給与手当	47,976,520	48,178,867	△ 202,347	
その他人件費	5,061,616	6,961,989	△ 1,900,373	
委託費	149,790,676	123,066,679	26,723,997	
その他事業諸費	57,029,534	58,773,109	△ 1,743,575	
情報提供事業費	37,853,058	51,997,767	△ 14,144,709	
給与手当	12,563,908	18,781,404	△ 6,217,496	
その他人件費	1,255,982	3,350,515	△ 2,094,533	
その他事業諸費	24,033,168	29,865,848	△ 5,832,680	
＜講習会事業＞公益目的事業2	283,325,342	251,838,579	31,486,763	
講習等事業費	283,325,342	251,838,579	31,486,763	
給与手当	67,740,913	70,700,140	△ 2,959,227	
その他人件費	12,249,591	11,413,264	836,327	
その他事業諸費	203,334,838	169,725,175	33,609,663	
＜展示会事業＞公益目的事業3	154,179,836	118,745,887	35,433,949	
展示会事業費	154,179,836	118,745,887	35,433,949	
給与手当	37,004,587	26,550,547	10,454,040	
その他人件費	6,190,473	4,304,930	1,885,543	
その他事業諸費	110,984,776	87,890,410	23,094,366	
＜防災エキスパート事業＞公益目的事業4	34,348,212	29,772,944	4,575,268	
協力・支援事業費	34,348,212	29,772,944	4,575,268	
給与手当	2,004,223	4,386,850	△ 2,382,627	
その他人件費	4,999,351	3,404,930	1,594,421	
その他事業諸費	27,344,638	21,981,164	5,363,474	
＜法人会計＞	56,151,195	51,738,219	4,412,976	
管理費	56,151,195	51,738,219	4,412,976	
人件費	37,911,363	34,118,880	3,792,483	
給与手当	29,484,168	27,422,475	2,061,693	
法定福利費	5,459,855	4,661,836	798,019	
その他人件費	2,967,340	2,034,569	932,771	
管理諸費	18,239,832	17,619,339	620,493	
賃借料	4,073,987	2,602,250	1,471,737	
光熱水費	43,304	286,406	△ 243,102	
租税公課	1,435,019	1,642,244	△ 207,225	
通信運搬費	591,058	453,891	137,167	
その他管理諸費	12,096,464	12,634,548	△ 538,084	
経常費用計	825,715,989	741,074,040	84,641,949	
評価損益等調整前当期経常増減額	41,626,806	23,735,438	17,891,368	

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産財産評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	41,626,806	23,735,438	17,891,368	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
事務所原状回復費用引当金戻入		151,350,000	△ 151,350,000	
経常外収益計	0	151,350,000	△ 151,350,000	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	0	4,277,558	△ 4,277,558	
経常外費用計	0	4,277,558	△ 4,277,558	
当期経常外増減額	0	147,072,442	△ 147,072,442	
税引前当期一般正味財産増減額	41,626,806	170,807,880	△ 129,181,074	
法人税、住民税及び事業税	5,597,600	2,711,800	2,885,800	
当期一般正味財産増減額	36,029,206	168,096,080	△ 132,066,874	
一般正味財産期首残高	3,116,021,969	2,947,925,889	168,096,080	
一般正味財産期末残高	3,152,051,175	3,116,021,969	36,029,206	
II 指定正味財産増減の部				
指定正味財産へ振替額			0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	146,830,000	146,830,000	0	
指定正味財産期末残高	146,830,000	146,830,000	0	
III 正味財産期末残高	3,298,881,175	3,262,851,969	36,029,206	

### 3. 貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	497,539,293	520,546,202	△ 23,006,909
出版入金	9,036,957	8,595,716	441,241
仕掛金	115,464,279	61,377,301	54,086,978
未収消費税	873,014	873,014	0
未収消費税	0	3,012,300	△ 3,012,300
立替金	40,257	34,401	5,856
前払費用	7,662,316	4,751,539	2,910,777
流動資産合計	630,616,116	599,190,473	31,425,643
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	335,200,000	335,200,000	0
基本財産合計	335,200,000	335,200,000	0
(2) 特定資産			
土地	1,380,000	1,380,000	0
器具備品	2,250,000	2,250,000	0
海外留学生奨助基金	100,000,000	100,000,000	0
研究論文奨励基金	50,000,000	50,000,000	0
調査研究事業基金	1,180,000,000	1,180,000,000	0
情報提供事業基金	750,000,000	750,000,000	0
展示会事業基金	50,000,000	50,000,000	0
防災・安全・救命事業基金	150,000,000	150,000,000	0
防災・安全・救命事業準備資金	71,724,472	58,252,340	13,472,132
展示会事業準備資金	10,000,000	0	10,000,000
退職給付引当資産	42,111,557	39,644,474	2,467,083
役員退職慰労引当資産	10,758,908	9,233,358	1,525,550
特定資産合計	2,418,224,937	2,390,760,172	27,464,765
(3) その他固定資産			
建物附属設備	53,322,484	52,646,182	676,302
器具備品	31,116,759	31,116,759	0
ソフトウェア	26,082,898	39,405,572	△ 13,322,674
減価償却累計額	△ 11,212,943	△ 2,470,460	△ 8,742,483
電 話 加 入 権	1,923,400	1,923,400	0
敷 金	49,989,960	64,565,820	△ 14,575,860
その他固定資産合計	151,222,558	187,187,273	△ 35,964,715
固定資産合計	2,904,647,495	2,913,147,445	△ 8,499,950
資産合計	3,535,263,611	3,512,337,918	22,925,693
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	142,457,311	173,942,194	△ 31,484,883
未払法人税等	5,597,600	2,711,800	2,885,800
未払消費税	11,488,600	0	11,488,600
前受金	7,670,720	7,670,720	0
賞与引当金	15,000,000	15,000,000	0
預り金	1,297,740	1,283,403	14,337
流動負債合計	183,511,971	200,608,117	△ 17,096,146
2. 固定負債			
退職給付引当金	42,111,557	39,644,474	2,467,083
役員退職慰労引当金	10,758,908	9,233,358	1,525,550
固定負債合計	52,870,465	48,877,832	3,992,633
負債合計	236,382,436	249,485,949	△ 13,103,513
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
寄付金	146,830,000	146,830,000	0
指定正味財産合計	146,830,000	146,830,000	0
(うち基本財産への充当額)	△ 140,200,000	△ 140,200,000	0
(うち特定資産への充当額)	△ 6,630,000	△ 6,630,000	0
2. 一般正味財産	3,152,051,175	3,116,021,969	36,029,206
(うち基本財産への充当額)	△ 195,000,000	△ 195,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	△ 2,358,724,472	△ 2,358,724,472	0
正味財産合計	3,298,881,175	3,262,851,969	36,029,206
負債及び正味財産合計	3,535,263,611	3,512,337,918	22,925,693

# 貸借対照表附属明細書

## 1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期末残高	
基本財産	投資有価証券(利付国債112回債)	235,200,000	0	0	235,200,000	
	投資有価証券(東京地下鉄株社債)	100,000,000	0	0	100,000,000	
	基本財産合計	335,200,000	0	0	335,200,000	
特定資産	土地	1,380,000	0	0	1,380,000	
	器具備品	2,250,000	0	0	2,250,000	
	海外留学生援助基金	100,000,000	0	0	100,000,000	
	投資有価証券(利付国債11回債)	30,000,000	0	0	30,000,000	
	投資有価証券(利付国債12回債)	20,000,000	0	0	20,000,000	
	投資有価証券(高速道路機構債153回債)	50,000,000	0	0	50,000,000	
	研究論文奨励基金	50,000,000	0	0	50,000,000	
	投資有価証券(利付国債12回債)	50,000,000	0	0	50,000,000	
	退職給付引当資産	39,644,474	3,806,833	1,339,750	42,111,557	
	定期預金(みずほ銀行・本店)	39,644,474	3,806,833	1,339,750	42,111,557	
	役員退職慰労引当資産	7,707,808	1,525,550	0	10,758,908	
	定期預金(みずほ銀行・本店)	9,233,358	1,525,550	0	10,758,908	
	調査研究事業基金	1,180,000,000	0	0	1,180,000,000	
	投資有価証券(利付国債12回債)	260,000,000	0	0	260,000,000	
	投資有価証券(利付国債7回債)	150,000,000	0	0	150,000,000	
	投資有価証券(高速道路機構債153回債)	450,000,000	0	0	450,000,000	
	定期預金(みずほ銀行・本店)	320,000,000	0	0	320,000,000	
	情報提供事業基金	750,000,000	0	0	750,000,000	
	投資有価証券(利付国債7回債)	150,000,000	0	0	150,000,000	
	投資有価証券(利付国債12回債)	600,000,000	0	0	600,000,000	
	展示会事業基金	50,000,000	0	0	50,000,000	
	定期預金(みずほ銀行・本店)	50,000,000	0	0	50,000,000	
	防災・安全・救命事業基金	150,000,000	0	0	150,000,000	
	定期預金(みずほ銀行・本店)	150,000,000	0	0	150,000,000	
	防災・安全・救命事業準備資金	58,252,340	40,000,000	26,527,868	71,724,472	
	普通預金(みずほ銀行・本店)	58,252,340	40,000,000	26,527,868	71,724,472	
	展示会事業準備資金	0	10,000,000	0	10,000,000	
	普通預金(みずほ銀行・本店)	0	10,000,000	0	10,000,000	
		特定資産合計	2,531,094,114	55,332,383	27,867,618	2,418,224,937

## 2. 引当金の明細

### 賞与引当金

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	15,000,000	15,000,000	15,000,000	0	15,000,000

### 役員退職慰労引当金

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	9,233,358	1,525,550	0	0	10,758,908

### 退職給付引当金

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	39,644,474	3,806,833	1,339,750	0	42,111,557

# 財務諸表に対する注記

## 1. 重要な会計方針

### (1) 棚卸資産の評価基準および評価方法

出版物は、総平均法による原価法によっている。

### (2) 固定資産の減価償却の方法

定額法による減価償却を実施している。

### (3) 引当金の計上基準

①賞与引当金の計上基準…職員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当事業年度負担額を計上している。

②退職給付引当金の計上基準…職員に対する退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。なお、退職給付債務は期末要支給額に基づいて計算している。

③役員退職慰労引当金の計上基準…役員への退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上している。

④事務所原状回復費用引当金の計上基準…事務所の移転に伴う原状回復に備えるため、支給見込額を計上している。

### (4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜き方式によっている。

## 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	335,200,000	0	0	335,200,000
基本財産合計	335,200,000	0	0	335,200,000
特定資産				
土地	1,380,000	0	0	1,380,000
器具備品	2,250,000	0	0	2,250,000
海外留学生援助基金	100,000,000	0	0	100,000,000
研究論文奨励基金	50,000,000	0	0	50,000,000
退職給付引当資産	39,644,474	3,806,833	1,339,750	42,111,557
役員退職慰労引当資産	9,233,358	1,525,550	0	10,758,908
調査研究事業基金	1,180,000,000	0	0	1,180,000,000
情報提供事業基金	750,000,000	0	0	750,000,000
展示会事業基金	50,000,000	0	0	50,000,000
防災・安全・救命事業基金	150,000,000	0	0	150,000,000
防災・安全・救命事業準備資金	58,252,340	40,000,000	26,527,868	71,724,472
展示会事業費用準備資金	0	10,000,000	0	10,000,000
特定資産合計	2,390,760,172	55,332,383	27,867,618	2,418,224,937
合 計	2,725,960,172	55,332,383	27,867,618	2,753,424,937

## 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する 額)
基本財産				
投資有価証券	335,200,000	(140,200,000)	(195,000,000)	(0)
小 計	335,200,000	(140,200,000)	(195,000,000)	(0)
特定資産				
土地	1,380,000	(1,380,000)	(0)	(0)
器具備品	2,250,000	(2,250,000)	(0)	(0)
海外留学生援助基金	100,000,000	(0)	(100,000,000)	(0)
研究論文奨励基金	50,000,000	(3,000,000)	(47,000,000)	(0)
退職給付引当資産	42,111,557	(0)	(0)	(42,111,557)
役員退職慰労引当資産	10,758,908	(0)	(0)	(10,758,908)
調査研究事業基金	1,180,000,000	(0)	(1,180,000,000)	(0)
情報提供事業基金	750,000,000	(0)	(750,000,000)	(0)
展示会事業基金	50,000,000	(0)	(50,000,000)	(0)
防災・安全・救命事業基金	150,000,000	(0)	(150,000,000)	(0)
防災・安全・救命事業準備資金	71,724,472	(0)	(71,724,472)	(0)
展示会事業費用準備資金	10,000,000	0	(10,000,000)	(0)
小 計	2,418,224,937	(6,630,000)	(2,358,724,472)	(52,870,465)
合 計	2,753,424,937	(146,830,000)	(2,553,724,472)	(52,870,465)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	53,322,484	5,688,763	47,633,721
器具備品(特定資産)	2,250,000	0	2,250,000
器具備品(その他固定資産)	31,116,759	5,524,180	25,592,579
ソフトウェア	26,082,898	0	26,082,898
合 計	112,772,141	11,212,943	101,559,198

5. 債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
国債 利付国債 112回債(20年)	235,200,000	245,407,680	10,207,680
国債 利付国債 11回債(30年)	30,000,000	30,912,000	912,000
国債 利付国債 12回債(30年)	930,000,000	987,102,000	57,102,000
国債 利付国債 7回債(40年)	300,000,000	252,030,000	△ 47,970,000
高速道路機構債券 153回債(40年)	500,000,000	427,700,000	△ 72,300,000
東京地下鉄株社債37回債	100,000,000	53,290,000	△ 46,710,000
合 計	2,095,200,000	1,996,441,680	△ 98,758,320

6. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位:円)

①退職給付債務	△ 42,111,557
②退職給付引当金	△ 42,111,557

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位:円)

①勤務費用	△ 5,332,383
②退職給付費用	△ 5,332,383

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末要支給額を基礎として計算している。

7. ファイナンス・リース取引関係

(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

(単位:円)

	器具備品
取得価額相当額	882,000
減価償却累計相当額	382,200
期末残高相当額	499,800

(2) 未経過リース料期末残高相当額

(単位:円)

	1年以内	1年超	合計
未経過リース料期末残高相当額	176,400	323,400	499,800

(3) 当期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額

(単位:円)

支払リース料	176,400
減価償却費相当額	168,271
支払利息相当額	8,129

(4) 減価償却費相当額の算定方法は、定額法によっている。

(5) 利息相当額の算定方法は、リース料総額とリース資産計上価額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっている。

以 上

# 4. 財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額			
(流動資産)	現金 預金	手元保管 普通預金 みずほ銀行・本店 三井住友銀行・東京公務部 三菱東京UFJ銀行・本店 りそな銀行・赤坂支店 ゆうちょ銀行振替口座 定期預金	運転資金として  運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として	214,716  348,438,801 12,464,000 122,834,749 12,745,241 841,786		
	仕掛品	㈱ネクスコ東日本エンジニアリング	<現金・預金計> 収1の業務に使用する経費である。	497,539,293 873,014		
	未収入金	みずほ証券㈱ ㈱ネクスコ東日本エンジニアリング他4件 東日本高速道路㈱他計63件	<仕掛品計> 公益目的事業に使用する利息である。 収1の受託収入である。 公益目的事業1の雑誌「高速道路と自動車」の購読料・ 図書販売である。	873,014 5,993,418 106,959,384 2,511,477		
	前払費用	森トラスト㈱  ㈱東京ビックサイト ㈱NEXCO保険サービス	<未収入金計> 公益目的事業及び収1、管理目的の業務に使用している 事務所の4月分賃借料である。 公益目的事業3の業務に使用する展示会申込金である。 公益目的事業4の業務に使用する保険料である。	115,464,279 4,542,476 2,292,300 827,540		
	立替金	東京労働局	<前払費用計> 公益目的事業及び収1、管理目的の業務に使用している 職員の労働保険精算である。	7,662,316 40,257		
	出版物	書籍「安全管理の手引き」他 6322冊	<立替金計> 公1・出版事業の在庫である。	40,257 9,036,957		
			<出版物計>	9,036,957		
	<b>流動資産計</b>			<b>630,616,116</b>		
	(固定資産) 基本財産	投資有価証券	第112回利付国債 東京地下鉄㈱社債37回(40年)	(共用財産) うち公益目的保有財産50% うち管理目的の財源として使用する財産50% <基本財産計>	235,200,000 100,000,000 335,200,000 167,600,000 167,600,000 335,200,000	
		特定資産	土地	銅像(土地)	その他	1,380,000
			器具備品	銅像	その他	2,250,000
			海外留学生援助基金	第11回利付国債(30年)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業2の 財源として使用している。	30,000,000
研究論文奨励基金			第12回利付国債(30年)	同上	20,000,000	
			高速道路機構債券153回(40年)	同上	50,000,000	
			第12回利付国債(30年)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業1の 財源として使用している。	50,000,000	
調査研究事業基金			第12回利付国債(30年)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業1の 財源として使用している。	260,000,000	
情報提供事業基金			第7回利付国債(40年)	同上	150,000,000	
			高速道路機構債券153回(40年)	同上	450,000,000	
			みずほ銀行・本店 定期預金	同上	320,000,000	
		第7回利付国債(40年)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業1の 財源として使用している。	150,000,000		
防災・安全・救命事業基金		第12回利付国債(30年)	同上	600,000,000		
展示会事業基金		みずほ銀行・本店 定期預金	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業4の 財源として使用している。	150,000,000		
防災・安全・救命事業準備資金		みずほ銀行・本店 普通預金	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業3の 財源として使用している。	50,000,000		
展示会事業準備資金		みずほ銀行・本店 普通預金	【特定費用準備資金】 使途が指定されている財産であり、 公益目的事業4の財源として使用している。	71,724,472		
退職給付引当資産		みずほ銀行・本店 定期預金	【特定費用準備資金】 使途が指定されている財産であり、 公益目的事業3の財源として使用している。	10,000,000		
退職給付引当資産		みずほ銀行・本店	<役員退職慰労引当資産> 役員退職慰労引当見合の引当資産として管理している。 <退職給付引当資産> 職員退職慰労引当見合の引当資産として管理している。	10,758,908 42,111,557		
<b>&lt;特定資産計&gt;</b>			<b>2,418,224,937</b>			
その他の固 定資産	建物附属設備	間仕切り工事他	管理運営の用に供している。	47,633,721		
	器具備品	可動式キャビネット他	管理運営の用に供している。	25,592,579		
	ソフトウェア	PCA公益法人会計ソフト他	管理運営の用に供している。	26,082,898		
	電話加入権	03-6436-2100他計26回線	(共用資産) うち公益目的保有財産77% うち収益目的の財源として使用する財産7% うち管理目的の財源として使用する財産16%	1,923,400 1,484,865 138,484 300,051		
	敷金	森トラスト㈱ (虎ノ門2丁目タワー)	(共用資産) うち公益目的保有財産77% うち収益目的の財源として使用する財産7% うち管理目的の財源として使用する財産16%	49,989,960 38,592,249 3,599,277 7,798,434		
<b>&lt;その他固定資産計&gt;</b>			<b>151,222,558</b>			

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>固定資産計</b>				2,904,647,495
		うち 公益目的保有財産		2,487,677,114
		うち 引当資産		52,870,465
		うち 収益目的の財源として使用する財産		3,737,761
		うち 管理目的の財源として使用する財産		275,007,683
		うち 公益目的事業3の財源として使用する財産		10,000,000
		うち 公益目的事業4の財源として使用する財産		71,724,472
		うち その他		3,630,000
<b>資産合計</b>				3,535,263,611
(流動負債)	未払金	その他	公益目的事業及び収1、管理目的の業務に使用する 小口費用 39件である。 <b>&lt;未払金計&gt;</b>	142,457,311
	未払法人税等	芝税務署、東京都港都税 事務所	<b>&lt;未払法人税等計&gt;</b>	5,597,600
	未払消費税等	芝税務署	<b>&lt;未払消費税等計&gt;</b>	11,488,600
	前受金	みずほ証券㈱	公益目的事業に使用する国債購入に伴う利息である。 <b>&lt;前受金計&gt;</b>	7,670,720
	預り金	役職員他 役職員	源泉所得税 地方税 (住民税等) <b>&lt;預り金計&gt;</b>	629,699 668,286 1,297,740
	賞与引当金	職員	公益目的事業及び収1・管理目的の業務に 従事する職員の賞与の引当金である。 <b>&lt;賞与引当金計&gt;</b>	15,000,000
<b>流動負債計</b>				183,511,971
(固定負債)	役員退職慰労引当金	役員分	<b>&lt;役員退職慰労引当金&gt;</b> 公益目的事業及び収1・管理目的の業務を 執行する役員の退職慰労金の引当金である。 <b>&lt;役員退職慰労引当金計&gt;</b>	10,758,908
	退職給付引当金		<b>&lt;退職給付引当金&gt;</b> 公益目的事業及び収1・管理目的の業務を 執行する職員の退職給付金の引当金である。 <b>&lt;退職給付引当金計&gt;</b>	42,111,557
<b>固定負債計</b>				52,870,465
<b>負債合計</b>				236,382,436
<b>正味財産</b>				3,298,881,175

(注) 令和6年度期首及び期末の公益目的保有財産額の合計は次のとおりである。

(単位：円)

期首	2,498,882,698
期末	2,487,677,114

# 監査報告書

公益財団法人 高速道路調査会  
理事長 長尾 哲 殿

令和7年4月30日

監事

重永正敏



監事

西岡利道



私は、公益財団法人高速道路調査会定款第35条第2号に基づき、当法人の令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6事業年度の業務及び会計について監査を実施しました。

その結果につき、次のとおり報告します。

## 1 監査方法の概要

私は理事会に出席するほか、当法人の関係者からの事業の報告を聴取するとともに業務及び財産の状況を調査しました。また、当法人の関係者からの説明及び独立監査人（公認会計士）からの報告を受け、事業報告及び正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録（以下「財務諸表等」という。）について監査を実施しました。

## 2 監査の結果

### (1) 業務監査の結果

法令及び当法人の年度計画、事業計画等に基づき、適正に運営されていると認めます。

### (2) 会計監査の結果

① 独立監査人やまなみ監査法人の監査の方法及び結果は、相当であると認めます。

② 事業報告は、当法人の業務運営の状況を正しく示しているものと認めます。

③ 財務諸表等は、必要な事項を正しく示しているものと認めます。

以上

# 独立監査人の監査報告書

令和7年4月21日

公益財団法人 高速道路調査会  
理事会 御中

やまなみ監査法人

東京都台東区

指 定 社 員

業 務 執 行 社 員

公認会計士

横山 良和 

## <財務諸表監査>

私たちは、公益財団法人高速道路調査会の令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6事業年度の貸借対照表及び損益計算書（公益認定等ガイドラインI-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）並びにその附属明細書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

## 財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

私たちの責任は、私たちが実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私たちの判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私たちは、リスク評価の実施に際して、

状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

私たちは、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### <財産目録に対する意見>

私たちは、公益財団法人高速道路調査会の令和7年3月31日現在の令和6事業年度の財産目録について監査を行った。

#### 財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

#### 監査人の責任

私たちの責任は、財産目録の「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合しているかについて意見を表明することにある。

#### 財産目録に対する監査意見

私たちは、上記の財産目録の「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合しているものと認める。

#### 利害関係

公益財団法人高速道路調査会と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上